



さらなるコラボレーションを!

熊本県工業連合会 会長

足立 國 功

熊本知能システム技術研究会として発足された「くまもと技術革新・融合研究会」(RIST)が20周年を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。

そして、その間、熊本県工業連合会につきましては、RIST会員のご理解とご協力を賜りまして、RISTフォーラムをはじめとした会合の共同開催やその他の催しも私ども工連会員へのご案内を頂戴していますことなど、格別なご指導ご支援をいただき有難くお礼申し上げます。

研究会ご発足当初では、全国的にみても数少ない産学官連携組織として先進的なご活動をなされ、今日に至るまで本県での産学官連携の研究開発における中核的組織として地域活性化に貢献されていますことに大なる敬意を表する次第です。

ところで、私ども工連会員といたしましては、これまで経験しなかったほどの大不況の真只中にありまして、いかにして活路を見出し切り開いていくかが焦眉の急であります。このため、これまでの工連事業に加え会員のプラスになることで着手できることは、何でもやろうという考えで活動してきているところであります。

そこでは、例えば温度差のあるものがぶつかって対流するエネルギーが生じることく、異なった立場、分野、地域さらには海外との交流を進め、混じり合うときのエネルギーにより新たな活路を拓く原動力となるものと信じて活動をはじめ

ております。

このようなことから、工連活動を強くアピールするため、これまでの略称「県工連」を「くまもと工連」とし、また組織の特長を打ち出すため「イノベーション」でリードする産業集団「熊本県工業連合会」として情報発信していくことにしました。また、スピーディな工連運営のため、総会、幹事会の決議のもと迅速な執行を図る「五役会」(会長、事務局統括副会長、幹事長、常任幹事、事務局長で構成)を設け、会員は勿論のこと地域社会にお役に立つ団体を目指しているところであります。

このような中、知能システム技術から技術革新・融合の研究会へと改称されたRIST会員の新たな取り組みにこれまで以上に期待いたしている次第であります。

そして、国内にとどまらず海外への産学官連携の中核組織として、頼りになる力強いネットワークづくりがRISTにより展開されていくことを確信いたし、くまもと工連とのコラボレーションが、さらに密になっていくことを願っております。

終わりに、くまもと技術革新・融合研究会の今後ますますのご発展と、会員各位のご繁栄ご活躍をお祈りいたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。